

平成 2 5 年 1 1 月 2 2 日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 松野 豊 様

議会報告会 3 班

班長	加藤	啓子
	中村	彰男
	徳増	記代子
	酒井	睦夫
	宮田	一成
	松野	豊
	松尾	澄子

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成 2 5 年 1 1 月 1 7 日 (日)  
午前 9 時 3 0 分 ~ 午前 1 1 時 3 0 分
- 2 場所 東部公民館
- 3 欠席議員 なし
- 4 参加者数 24 名  
(うち傍聴議員 4 名)  
※傍聴議員は西川議員、笠原議員、墨田区議 2 名
- 5 報告内容
  - 議員定数について  
3 班を代表して酒井議員より報告。※報告資料別添
  - 防災・防犯について

3班を代表して宮田議員より報告。※報告資料別添

6 意見交換内容

- 今の常任委員会は7名で、全部が7名である必要はないのでは？委員会を6名体制として、現行よりも定数を4名減らすことは可能であるのではないか。
- 議員が（普段）何をしているかわからない。4名程度減らしても良いのではないか。報酬は、他市と比べても遜色ないと思う。
- 1万人の署名が、有権者10万人のうちの1万人である。多様な人が出たほうがよい。若い人が投票に行かない。定数を減らすことが良いとは限らない。若い人が出られる仕組みが必要。
- 議員の活動がわからない。定例会以外がわからない。45万円相当の働きがあるのか。議会は年中あるわけではない。副業があるならば別問題だが報酬相当の働きをしているのか知りたい。その上で、定数を論じたい。
- 決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会の委員定数は少ない。議員の半数くらいの委員定数にすべきである。委員会室のスペース等の問題であれば、本会議場で開会をしてみてもは？
- 議員定数削減の意図（主旨）が、どうも理解しづらいです。質問したように今日の提案は経費ありきに感じがちで、本来の議会のあり方（二元代表制）が二の次になっていると感じられます。
- 森林の保護が緊急性がある。ある公園では、折れた木がずっと放置してある。杉が枯れているところがある。間伐材をきれいに処理していない。市役所というと、その場所だけやる。その場だけではなく見回ることをするべきだ。適切な管理と事前の予防をするべきだ。市民レベルでは木の選定は仕事ではない。市でやるべきだ。どこを切ってよいかわからない。

い。老人会もシルバーもできない。市の仕事だが専門業者がやっていないのが流山である。選定は年1回しかやってない。

- 「e コミ流山」の名前は久しぶりに耳にしました(4月以来)。「e コミ」のPRや、現状どのような形になっているか、市とともに、もっとわかりやすくPRすべきだと思います。
- 防災科研と市が開催しているワークショップにも参加しているし、小学校単位で防災マニュアル(避難所マップなども)を作成していますが、携わっている人たちしか知らないというのはおかしい。そういうことも一般市民の方には伝達すべきではないか。
- 決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会の委員定数は少ない。議員の半数くらいの委員定数にすべきである。委員会室のスペース等の問題であれば、本会議場で開会をしてみてもは？

## 7 参加者から議会への要望

### 【議員定数】

- 討論の中身を変えるべき。箱モノとかの大量投資が盛んであるが、東部地区には、大きな改善はないように思う。議論が盛んに行われるような議会になってほしい。削減ありきで進むことはよいとは思わない。
- 議員定数アンケートの内容を、ぜひ拝見したい。(アンケート結果前に)

### 【防犯・防災】

- 大きな問題より、身近な問題を取り上げてほしい。活断層が松が丘をとおっているとかという情報があるがとか、江戸時代に南流山まで津波が到達したという記録がある。専門家に調査してもらわないと素人が何言ってもしょうがない。予測でき

る危険性が何かを調べるのが先である。

【その他】

- タウンミーティングに議員も参加したほうが多くの意見が出るので良いのではないかと思うし、ぜひ今後は、開催地域の議員さんだけでも参加して欲しい。

8 所感

【参加者からの感想】

- 大変勉強になりました。今後の参考にさせていただきます。(墨田区議)
- 勉強になりました。ありがとうございました。(墨田区議)
- こういう報告会を開催されたことを評価します。質問・意見関係の時間がたっぷりあり、よかったと思います。
- インターネット公開(中継)は情報公開という点から、とてもよいと思います。
- 「防災・防犯について」議員がテーマを俎上に掲げた勇気に敬意を表します。議員の有志が本テーマに取り組んでくださり、市役所を動かして行く形に創成されることを願っています。

上記、参加者からの感想を見ても一定の評価をいただいたものと感じた。

議員定数に関しては削減することについて賛否両論バランスよく意見が出されたので今後の議会内における審議の参考となった。

今回は市民経済常任委員会をベースに班構成をしていたことから、常任委員会の所轄である「防犯・防災」に関して参加者の皆さまから頂戴したご意見については、今後の常任委員会活動にも反映させ、議会における政策形成サイクルのきっかけとしたい。